

市
議
会
報

大 野

No. 35
 53. 11. 1
 発行 大野市議会
 T E L. 6-1111
 (内線 303)
 印刷 松浦印刷

9 月 定 例 市 議 会

9 月 定 例 会 審 議 日 程

- 12日 本会議 (会期の決定、議案一
括上程、提案理由の説明)
- 13日～17日 休会
- 18日 本会議 (一般質問、各案件委
員会付託)
- 19日 委員会 (建設・産業経済常任)
- 20日 委員会 (教育民生・総務常任)
- 21日 休 会
- 22日 本会議 (各委員長報告、質疑
討論、採決)



おもな案件

▼昭和53年度大野市一般会計補正予算
 今回の補正では、3億2,727万4,000
 円を追加して、63億6,864万3,000円と
 となりました。
 補正の主なものは次のとおり。
 [歳 出]

退職手当組合特別負担金695万円。県立

市民憲章の制定についてなど 12議案を可決・同意

——一般会計補正予算3億2,727万円——

第173回9月定例会市議会は、9月12日招集され、会期を22日までの11日間と定め、市長の施政方針演説があり、理事者から提出の議案12件を原案どおり可決・同意いたしました。また市民の皆さんから出されました請願・陳情は別掲のとおり決め、最終日には議員提案による「元号の法制化に関する意見書」「高齢者医療保障制度の抜本改革に関する意見書」の2件を賛成多数で可決いたしました。

***** 大野市民憲章 *****

1. みずみずしさあふれるまちに

私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくります。

2. 小さな芽が伸びるまちに

私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てます。

3. 大きくはばたくまちに

私たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめます。

4. あたたかい心のかようまちに

私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げます。

5. 明るくやすらぎのあるまちに

私たちは、まちづくりに進んで参加し、

住みよいまちを築きます。

大野青年の家敷地造成工事1,560万円
 (中野地係)。有終南小建設予定地騒音調
 査委託97万円。地下水対策費139万円
 (清滝川の水を市街地へ流す木本水路改
 良工事)。社会福祉協議会補助400万円
 (老人福祉センター備品購入)。老人福祉
 センター建設1億5,012万円。し尿処理
 場建物防水工事150万円。米品質改善管
 理センター設置事業補助728万円(市農
 協)。集落生活改善センター設置事業補助
 450万円(上唯野)。市単土地改良工事475

万円。ほ場整備補助1,543万円の追加。
 農道県工事負担金859万円の追加。林道
 維持修繕工事200万円の追加。六呂師駐
 車場舗装補助200万円。道路補修工事
 300万円の追加。道路改良工事4,754万
 円の追加。道路舗装工事627万円の追加。
 魚見橋解体工事46万円。上亀山橋改良工
 事695万円(老人憩いの広場前)。南部第
 二土地区画整理事業調査県負担金380万
 円。善導寺川下水路河床整備200万円。
 有終南小建設予定地平面計画作成委託

100万円。乾側小備品購入700万円。尚徳中通路舗装および側溝改修工事270万円。中部日本スキー大会補助130万円など。

〔歳入〕

市税9,994万円。分担金及び負担金267万円。県支出金4,279万円。寄付金4,480万円。繰入金5,000万円。繰越金4,852万円。市債4,000万円など。

▼大野市老人福祉センター設置条例

「老人に健全な憩いの場を提供し、心身の健康と福祉の増進に資するため、大野市老人福祉センターを設置する」もので、場所は亀山西側のおかね川沿いの地、管理運営は大野市社会福祉協議会に委託する。

人権擁護委員候補者
推薦に同意

山 田 主 治 (明治36.4.12 生)
大野市野中第9号17番地

▼土地の取得について

工場誘致用地として、ニッセキハウスを誘致すべく確保したが、進出を断念したため、市が今後の工場誘致用地として購入するもので、面積155,770㎡(47,121坪)金額1億7,435万8,186円である。

▼寄付金の受入れについて

大野市老人福祉センター建設資金として、大阪相互タクシー株式会社社長多田清氏から8,000万円(53年度4,000万円54年度4,000万円)、また備品整備費として、大野建設業会会長兼井藤波氏から1,000万円(53年度300万円、54年度350万円、54年度350万円)をそれぞれ寄付されたもの。

意見書を議決
政府関係機関へ提出

定例会最終日の9月22日に意見書が上程され、審議の結果賛成多数で可決されました。意見書は政府はじめ関係機関に提出し、早期実現を要請しました。(本文略)

- ・元号の法制化に関する意見書
- ・高齢者医療保障制度の抜本改革に関する意見書



一 般 質 問

九月十八日、議案に対する質疑ならびに一般質問が行われ、四名の方々が理事者に質問し、その外にも多数の方々が関連質問を行いました。

その主なものは市長の施政方針に対する考え方、工場誘致の問題、生活安定資金の問題、保育所建設の問題に関するものなどでした。

なお、これらの答弁には市長のほか関係課長が当たりました。

施政方針の中の
新しいまちづくりの
考え方について

問 市長は施政方針の中で、公平なる市政、清潔なる行政、心の通い合った愛情ある市政の3つの柱を掲げ、それを土台にして「豊かで安らぎのある新しいまちづくり」を進めていきたいと述べているが、新しいまちづくりについての具体的な考え方を伺いたい。

答 豊かで安らぎのある新しいまちづくりとは、大野市政がいろいろな面で立ち遅れているので、これを県の行政水準にもっていききたいということである。また市政の内部にもいろいろヒズミが生じており、不均衡もあるのでこれを是正していきたい。また新しいまちづくりとは、今後当市を近代都市として生活環境の整ったまちにしていきたいということであり、若い人々が大野市に定着するように安定した企業、働く場所をつくる必要があるため、企業誘致に全力を挙げていかなければならないと考えている。

工場誘置について

問 ニッセキハウスの進出断念を受けて新塚原の土地取得の議案が提案されたがこの土地はあくまで工場用地として使用し、他に転用してはならない。また早急に安定成長型の工場を誘致すべきであると考えますが、市長の所見を伺いたい。

答 県が福井臨海工業地帯への企業誘致に苦勞しているのをみても、当市の場合も非常に困難な事業と思う。しかし当市は内陸型の企業を誘致することが最適であり、県と競合することはないと思う。県・国に対し要請もし努力もしているが今後も宣伝活動を活発にし、私が先頭に立って努力していく決意である。なお、塚原の用地については、今後とも農村地域工業導入地区ということで努力していきたい。

ナイター設備の
増設について

問 53年度に陽明中グラウンドにナイター設備を設置する計画になっていたと思うが、今回の補正に計上されていないのはなぜか。

答 陽明中のナイター設備については、今年グラウンドを整備して来年度実施するつもりである。引き続き55年度に尚徳中グラウンドに設置したいと考えている。

職業訓練校の
誘致について

問 雇用情勢の厳しい中で、労働者の職業技能修得のために、職業訓練校を奥越に誘致する考えはないか。

答 現在当市には福井県高等職業訓練校の分校として、市民会館で週2回建築関係の訓練校を開設している。職業訓練校

は福井、武生、敦賀、小浜に設置されているが、当奥越地方にはないので、今後県当局に対して要望していきたい。

勤労者生活安定資金の
ワクの拡大について

問 引き続き不況でサラ金(サラリーマン金融)が大きな社会問題となっている中で、当市は勤労者生活安定資金制度を労働金庫と協調して実施し、市民に順調な融資をしているが、資金ワクが少なくなっている。不足した場合には補正願いたいと思うが、どうか。

答 労働金庫の融資5,000万円に対して市が1/2の2,500万円を無利子で預託している。すでに貸付金の返済期に入っているため、この返還金を貸付けに回すよう労働金庫と現在話し中である。なお、今後さらに予算獲得に努め、資金ワクの拡大を図り年末の需要に対処していきたい。



奥越の閉鎖性
打開について

問 奥越の閉鎖性を除去するため、近代交通網を整備すると公約されているが、閉鎖性を除去するための方策として最も緊急を要するものは何か。またこれを全面的に解消するための今後の手立てについて所見を承りたい。

答 打開するための具体的な方法は、極めて多種多様にわたると思う。閉鎖性の一つは市民の意識の問題で、教育や文化の交流によって解決していかなければならないし、一つは生活環境の改善であり中京との交通を整備していくことである。特に越美北線はまだ全線が開通していないので、一日も早く全通すべく努力して

— 10月臨時市議会 —

老人福祉センター新築工事
請負契約可決

第174回10月臨時市議会は10月16日招集され、会期を1日限りと定め、理事者から提出の議案1件を可決しました。

議案の内容は次のとおりです。

▼工事請負契約について

大野市老人福祉センター新築工事を1億3,200万円で請負契約を締結するもの

いかなければならない。また、国道157・158号線の整備も緊急の課題であり、これらについて今後とも国・県に強力に働きかけていきたい。

富田地区に
公立保育所建設について

問 富田地区の中央部に保育所を建設して欲しいという請願書が提出されており公聴会にも幾度となく要求されている問題であるが、どう対処するのか、方針を伺いたい。

答 定員数の関係から入園できない児童については、私立保育園の増設や新設、あるいは公立保育園の改築に伴う定員増などで、ここの二年のうちには解消されると思う。しかし富田中央部については、地理的な関係での入園希望者もあると思慮されるので、阪谷地区を含めて検討したい。

問 児童福祉法施行令第11条によると、公立保育所に入所させるのが原則でありこの点からも富田地区に公立保育所を建

で昭和54年3月31日までに完成予定。鉄筋コンクリート2階建、延面積1,057.5㎡、建築工事、給排水衛生設備工事一式。

設願いたいと思うが、再度市長の決意を伺いたい。

答 経済の情勢や過疎の問題など十分実態をは握して見なければならぬ。定員60名以下では開設も認められないし、既に荒島保育所も設置されているので、いろいろ検討を加え前向きな姿勢で考えていきたい。

舗装に伴う
地元寄付金について

問 市民は道路の舗装を望んでおり、請願・陳情の主なものにはこれに類するものである。市は舗装に際して地元寄付金を受けているが、これを早く廃止する考えはないか。新しい市長の見解と方針を伺いたい。

答 基本的に好ましいことではないので、他市においても順次廃止されつつある。しかし、まだ負担金、寄付金などで徴している市も4市ある。地方財政法上からも好ましくないため、段階的に廃止していきたい。

委員会の活動
— 委員長報告から —

各委員会のおもな要望・意見など次のとおり

● 産業経済委員会

工場誘致について。産業構造を改革し若人の喜んで住めるまちづくりを目指す当市にとって、企業の誘致を図ることは当面の最大の課題である。しかし福井臨海工業地帯の現状や円高不況の経済情勢から考えて、最も困難な問題であるので全力を挙げて取り組むべきであるとの強い要望があり、関東、関西の財界に活躍中の多数の当地出身の方々との定期的な話

し合いの場を持つことなど、ふだんからの交流が必要である。また、当市を紹介するパンフレットなどもある程度立派なものにする必要があるのではないかなどの意見が述べられた。

●教育民生委員会

老人福祉センター建設については適正な発注、早期着工、期間内完成を期すとともに、管理、運営についても当初から市の基本姿勢をはっきり打ち出し、社会福祉協議会と十分な協議を行って万全を期すよう要望した。

請願24号公立保育所の建設については荒島保育所ならびに幼稚園との関連、地域的な問題等種々の問題について、その実態を的確に掌握し、十分検討する必要があるので、なお慎重な審査を要するとして継続審査とした。

●総務委員会

①県立青年の家の造成費について。施設の乏しい当市にとってはこのような県有施設を誘致することは必要なことであり近隣の市道整備、水路改修などに協力すべきは当然である。しかし、敷地の造成という建築そのものにかかわる経費を、市が負担することは不合理であり、今後の交渉に当たってはき然たる市の態度が必要であると指摘された。

②新塚原の土地の取得について。本件は工場誘致用地として新塚原の47,121坪の広大な土地を取得しようとするものであるが、まだ確定測量がなされておらず今後面積の変更が予想されるが、大幅な変更は認められない。また、これからの管理上に種々の問題が派生することが予測されるが、土地の境界を明確にして、これらの問題に十分対処できるよう万全の措置をとっておくことを強く要請した。

●建設委員会

①道路維持補修費について。補正後の総額は前年度に比して200万円少ない。しかも早急に補修を実施しなければならない危険箇所が相当多く見受けられるので今後の補正において特段の配慮を要望した。

②水道課、土木課の技術者不足について。3月定例会の委員長報告で指摘したにもかかわらず、今なお人員増が行われていないことに全委員から強い不満の意が表明された。水道課においては大事業に着手したが、今後十分な管理監督が出来ないのではないかな。また土木課においては

改良、舗装に追われ、道路補修はほとんど行われていないとのことであり、これら技術者の不足が事業執行に支障をきたしているのではないかと憂慮されるのでその実態を的確に掌握し、早期に人員増を行い、執行に万全を期すよう要望した。

市民から提出された請願・陳情		
採択されたもの		
番号	件名	提出者
請願17	善導寺川の清掃修復について	中荒井町2丁目区長 葎安 光成
請願18	市立博物館建設について	博物館建設準備委員会 会長 斉藤 秀雄
請願19	下庄公民館の移転改築と内容充実について	下庄公民館改築促進期成同盟会 会長 四方 重平
請願20	市道の一部変更と舗装について	小矢戸区長 川端 正毅外8名
請願21	排水路の整備について	月美町区長 有沢 正次外 135名
請願22	保育行政について	私立保育園保護者会 代表 鳥山 泰弘
請願23	元号法制化促進について	神道政治連盟福井県本部 本部長 宮川 基
請願13	市道編入について	阿難祖領家 区長 久保 信男外28名
陳情20	酪農団地被災者復興援助方について	新興酪農生産組合 代表理事 村西 幸一
陳情21	借入資金等に対する助成について	大野織物工業協同組合 理事長 斉藤 政雄
陳情22	借入資金等に対する助成について	福井県丸編メリヤス協同組合 理事長 畑岡 弘明
陳情23	側溝の改良について	弥生町区長 前田 巧外11名
陳情24	側溝の改良について	弥生町区長 前田 巧外56名
陳情25	市道の舗装について	中荒井町2丁目区長 葎安 光成
陳情26	側溝の改修について	泉町1区長 中出繁三郎
陳情27	市道の拡幅と融雪溝について	下舌下2区長 安川 龍男
継続審査となったもの		
請願24	公立保育所の建設について	富田地区区長会長 松田 庄二外3団体
請願15	市道への昇格について	菖蒲池区長 石田 稔外5名
陳情28	市道に昇格編入について	蔵生区長 中山 気一
陳情13	し尿汲取り料金改正・冬期料金新設について	大野衛生設備KK 木下 登外5名
陳情16	有終南小学校建設地について	春日一丁目上区青年会 代表 佐々木牧男外4名
陳情17	北部都市区画整理事業進捗に伴う地番設定について	新栄町区長 和歌 芳成
陳情19	有終南小学校移転改築等について	移転改築問題期成同盟会 会長 長谷川敦男外2916名